

「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」(ヨハネによる福音書 15:15)

「俺がついてるぜ」

チャプレン 吉川光太郎

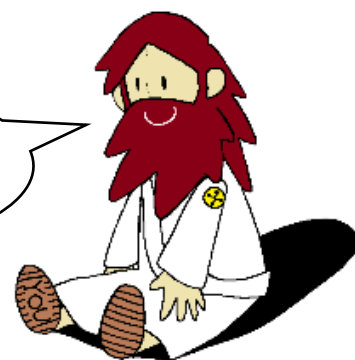
生まれたばかりの頃は誰しも、親や兄弟、親戚までの繋がりしか持っていません。家族はこの世の中で何よりも深い絆であり、自分のことを誰よりもよく知っている存在です。まさに神様が与えてくださった交わりであり、人はまずこの関係の中で成長していきます。ところが人は成長するにつれ、この関係以外の場所にも繋がりを求めるようになります。それは自立のための準備であり、自分自身を見出すための大切な繋がりです。保護者の皆様もよくご存じのように、幼稚園とは子どもたちの関係性が大きく広がる世界です。「友」という新しい存在に出会います。友は家族ではありませんが、多大な影響を与えてくれる存在です。

私自身もそうですが、友との交わりの中で、新しい価値観を得、大切なことに気づくことがあります。家族にも話せないようなことを信頼する友になら話せるということがあります。もちろん家族との関係は何よりも大切ですが、友との関係もまた私を強く支え、助けになっているのです。以前、神様は私たちの父であるということ、ここに書かせていただきました。それは決して消えることのない愛の証です。しかし同時にイエス様は私たちを友とも呼んでくださいます。それは「なんでも話してよ。君の助けになりたいんだ！」という招きなのです。この言葉は今、あなたに向けて語られています。なんでそんなことがあり得るのか。聖書を読んだことがない、教会に行ったことがない。こういったことを理由にそう思われるかもしれません。友という関係は基本的に相互作用ですから、そう思っても仕方ないかもしれません。

こういう時に私が思い出すのはピクサー映画の「トイ・ストーリー」です。私はこのアニメが大好きで 1-4 はもちろん、短編映画だって見漁っているほどです。なのでお話ししたいことは山ほどありますが、今日は主人公のウッディとアンディの関係についてだけ書き記します。ウッディは昔ながらの保安官の人形、つまりおもちゃです。そしてアンディはウッディの持ち主です。アンディが小さい頃からウッディはずっと一緒でした。この世界のおもちゃはみんな心を持っていて、ウッディはアンディを「ご主人」ではなく、大切な友達と呼んでいます。そしておもちゃながらに大奮闘をし、時にはアンディの、時にはアンディが大切にしているおもちゃのピンチを救うのです。アンディのためなら命すら捨てようとする、強い意志を持っています。なんて素敵な友達でしょうか。しかし、ただ一つ残念なのは、アンディはこのウッディの友情に気づけないということです。アンディにとってどれだけ大切な存在だとしてもウッディはおもちゃです。もしウッディがお話できることをアンディが知り、友情を分かち合うことができたなら、どれだけ幸せだろうか。どれだけ嬉しいだろうか。ずっとそう思ってきたのですが、その願いが叶うことはありませんでした(この前完結してしまったのです)。

あなたが気付いてない今も、あなたを心から愛し、あなたのためなら命すら捨ててくれるともなるイエス様があなたと共におられます。イエス様があなたに対して抱いておられる愛をあなたが知ることができたら、どんなに幸せでしょうか。私たちは今からでも、この方を友と呼ぶことができます。友なるイエス様と共に歩む幸いな人生に踏み出しましょう！

あんたは俺の
友だちだぜ！



9月のお知らせ

保育理念	受ける愛 与える愛
	—愛されていることを知り・愛する者となるために—

「 友だちとともに 」

今までに経験したことのないコロナウイルス感染症により、新しい生活様式を余儀なくされている園生活ですが、その中でも季節は巡り 9 月を迎えることができました。子どもたちは例年通り、天候の具合を見てセミの抜け殻探し、カマキリやバッタの虫探し、色づいたトマトや野菜の収穫に忙しい日々を過ごしてきました。今年は、ばらぐみさんが育てた胡瓜やトマトが、何回となく給食に提供できる程の収穫量で感動しています。このおかげでトマトや胡瓜が食べられるようになった子どもがいたことは嬉しいことでした。

むっとするような暑い日には、水遊びは最高です。心も体も開放され水の心地よさや友達との触れ合いを楽しんでいます。

園生活が始まって3カ月、友だちの名前を覚え、園生活のリズムにも慣れ見通しが持てるようになってきた子どもたちからは、休んでいる友だちがいると、「〇〇ちゃんと遊びたいね。はやく来られるといいね。」と友だちを気遣う言葉が聞こえるようになってきています。そして夏休みに経験したことを友だちや保育者に伝え、遊びの中に取り入れようとする姿がみられます。

これまで、フィンガーペインティング・ドーナツ屋さんごっこ・洗剤と洗濯ノリを混ぜた素材でのお化けの表現・夏祭りごっこ遊びで、夜店や盆踊り・みんなを楽しませたいと計画したお化け屋敷などの経験をしてきました。時間をかけてコツコツと取り組む中で、友だちと意見を出し合い、話し合う中でより楽しいアイデアが生まれる経験もしてきました。これからは、共通の目的に向かって活動や遊びを進める中で、友達と協力する楽しさを味わってほしいと願っています。コロナ禍での運動会ですが、一人ひとり目当てをもって取り組むとともに、共通の目的に向かって

取り組むためには、自己主張ばかりではなく友だちの思いに気付いたり、自分の思いを相手に伝えたり、ルールを確認したりしながら、友だちとともに力を合わせる

喜びや嬉しさを経験出来たらと思います。「友だちとともに」期待をもって臨むことのできる運動会であります様にと、願っています。

